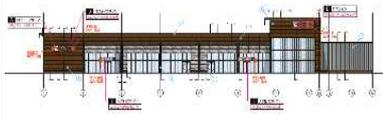
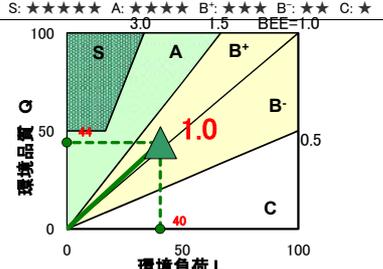


1-1 建物概要				1-2 外観	
建物名称	(仮称)オークワ ミラまち店	階数	地上1階		
建設地	愛知県豊橋市曙町字松並101-9の一部	構造	S造		
用途地域	第二種住居地域、法22条区域、曙町松並地区計画区域内	平均居住人員	300人		
気候区分	6地域	年間使用時間	4,700時間/年		
建物用途	物販店	評価の段階	実施設計段階評価		
竣工年	2020年1月 予定	評価の実施日	2019年4月1日		
敷地面積	13,409 m ²	作成者	森 聡伸		
建築面積	5,251 m ²	確認日	2019年4月2日		
延床面積	5,033 m ²	確認者	森 聡伸		

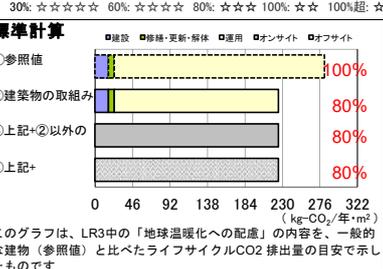
2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

BEE = 1.0 ★★★★★

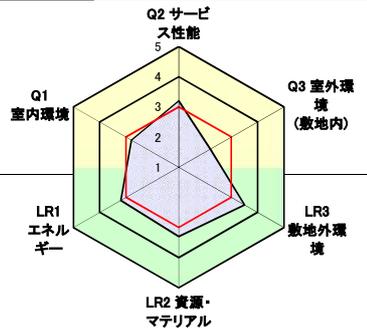


2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

☆☆☆☆☆



2-3 大項目の評価 (レーダーチャート)

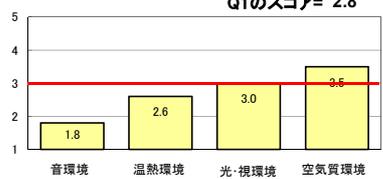


2-4 中項目の評価 (バーチャート)

Q のスコア = 2.7

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.8



Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.2



Q3 室外環境 (敷地内)

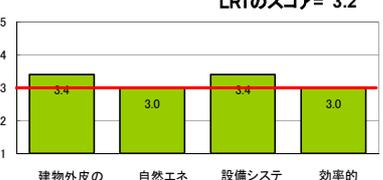
Q3のスコア = 2.2



LR のスコア = 3.3

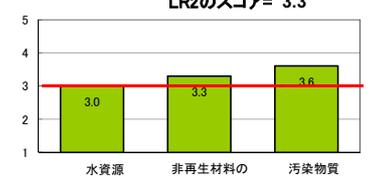
LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.2



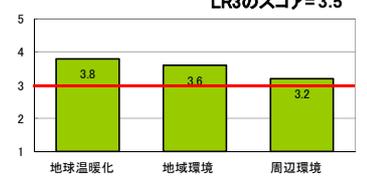
LR2 資源・マテリアル

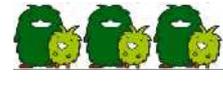
LR2のスコア = 3.3



LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.5



3 重点項目	
<h4>①地球温暖化への配慮</h4> <p style="font-size: 2em; color: green;">3.8</p> 	<h4>③敷地内の緑化</h4> <p style="font-size: 2em; color: green;">1.0</p> <p>外構緑化指数(外構緑化面積/外構面積)</p> <p style="text-align: center;">0.1 %</p> <p>建物緑化指数(建物緑化面積/建築面積)</p> <p style="text-align: center;">0.0 %</p>
<h4>②資源の有効活用</h4> <p style="font-size: 2em; color: green;">3.2</p> 	<h4>④地域材の活用</h4> <p style="font-size: 2em; color: green;">1.0</p> <p><外装材に使用した地域性のある材料></p> <p>なし</p> <p><建物の構造材・内装材、外構に使用した地域性のある素材></p> <p>なし</p>

各重点項目は、以下の評価項目の得点により算出されています。

①地球温暖化への配慮
 LR-3 1 地球温暖化への配慮

②資源の有効活用
 Q-2 2 耐用性・信頼性、Q-2 3 対応性・更新性
 LR-2 2 非再生性資源の使用量削減

③敷地内の緑化
 Q-3 1 生物環境の保全と創出

外構緑化指数 = $\frac{\text{中高木の樹冠の水平投影面積} + \text{低木・地被等の植栽面積}}{\text{敷地面積から建物面積(建築面積及び附属物面積)を除いた}} \times 100$

建物緑化指数 = $\frac{\text{屋上緑化面積} + \text{壁面緑化面積}}{\text{建築によって占有された部分の水平投影面積(法定面積)}} \times 100$

みんなの環境活動を応援しています



スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部						建物全体・共用部		居住・宿泊部分		全体									
配慮項目	独自基準 重点項目	環境配慮設計の概要記入欄		評価点	評価点	重み 係数	評価点	評価点	重み 係数	評価点	評価点	重み 係数	全体										
Q 建築物の環境品質														2.7									
Q1 室内環境														2.8									
1 音環境														1.8									
1.1 室内騒音レベル														0.4	1.8	0.15							
1.2 遮音														3.0	3.0	0.40							
1 開口部遮音性能														0.4	1.0	0.40							
2 外壁遮音性能														-	-	1.00							
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)														-	-	-							
4 界床遮音性能(重量衝撃源)														-	-	-							
1.3 吸音														-	1.0	0.20							
2 温熱環境														0.3	2.6	0.35							
2.1 室温制御														0.5	3.0	0.50							
1 室温														3.0	3.0	0.50							
2 外皮性能														3.0	3.0	0.17							
3ゾーン別制御性														3.0	3.0	0.33							
2.2 湿度制御														3.0	1.0	0.20							
2.3 空調方式														3.0	3.0	0.30							
3 光・視環境														0.2	3.0	0.25							
3.1 昼光利用														0.5	3.0	0.50							
1 昼光率														3.0	-	-							
2 方位別開口														-	-	-							
3 昼光利用設備														3.0	3.0	1.00							
3.2 グレア対策														-	-	-							
1 昼光制御														5.0	-	-							
3.3 照度														3.0	-	-							
3.4 照明制御														3.0	3.0	0.50							
4 空気質環境														0.2	3.5	0.25							
4.1 発生源対策														0.5	4.0	0.50							
1 化学汚染物質														3.0	4.0	1.00							
4.2 換気														0.3	3.0	0.30							
1 換気量														3.0	3.0	0.50							
2 自然換気性能														3.0	-	-							
3 取り入れ外気への配慮														3.0	3.0	0.50							
4.3 運用管理														0.2	3.0	0.20							
1 CO ₂ の監視														3.0	3.0	0.50							
2 喫煙の制御														3.0	3.0	0.50							
Q2 サービス性能														-	-	0.30							
1 機能性														0.4	3.2	0.40							
1.1 機能性・使いやすさ														0.4	3.0	0.40							
1 広さ・収納性														3.0	-	-							
2 高度情報通信設備対応														3.0	-	-							
3 バリアフリー計画														3.0	3.0	1.00							
1.2 心理性・快適性														0.3	3.3	0.30							
1 広さ感・景観 (天井高)														3.0	5.0	0.33							
2 リフレッシュスペース														3.0	4.0	0.33							
3 内装計画														3.0	1.0	0.33							
1.3 維持管理														0.3	3.5	0.30							
1 維持管理に配慮した設計														3.0	3.0	0.50							
2 維持管理用機能の確保														-	4.0	0.50							
2 耐用性・信頼性														0.3	2.8	0.31							
2.1 耐震・免震・制震・制振														0.4	3.0	0.48							
1 耐震性(建物のこわれにくさ)														3.0	3.0	0.80							
2 免震・制震・制振性能														3.0	3.0	0.20							
2.2 部品・部材の耐用年数														0.3	2.8	0.33							
1 躯体材料の耐用年数														-	3.0	0.23							
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔														-	2.0	0.23							
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔														-	3.0	0.09							
4 空調換気ダクトの更新必要間隔														-	3.0	0.08							
5 空調・給排水配管の更新必要間隔														-	5.0	0.15							
6 主要設備機器の更新必要間隔														-	2.0	0.23							
2.4 信頼性														0.1	2.6	0.19							
1 空調・換気設備														3.0	3.0	0.20							
2 給排水・衛生設備														3.0	2.0	0.20							
3 電気設備														3.0	3.0	0.20							
4 機械・配管支持方法														3.0	3.0	0.20							
5 通信・情報設備														3.0	2.0	0.20							

重点項目スコアシート
 (仮称)オークワ ミラまち店

実施設計段階

■使用評価マニュアル

CASBEE-建築(新築)2016年版+あいち版手引き

■評価ソフト:

CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)_AICHI

重点項目(配慮項目)		評価点	全体に対する 重み係数	重点項目スコア
① 地球温暖化対策				3.8
LR3-1	地球温暖化への配慮	3.8	0.10	
② 資源の有効活用				3.2
Q2-2	耐震性・信頼性	2.8	0.09	
Q2-3	対応性・更新性	3.5	0.09	
LR2-2	非再生性資源の使用量削減	3.3	0.19	
③ 敷地内の緑化				1.0
Q3-1	生物環境の保全と創出	1.0	0.09	外構緑化:0.1%/建物緑化:0%
④ 地域材の活用			(評価ポイント)	1.0
Q3-2 4)	地域性のある素材による良好な景観形成	0.0	-	なし
Q3-3.1 I 2)	地域性のある材料の使用	0.0	-	なし

■重点項目スコア算出式

各重点項目スコアは、以下の方法により算出されています。

①地球温暖化への配慮、③敷地内緑化

重点項目スコア=各配慮項目の評価点

②資源の有効活用 (評価点×全体に対する重み)の総和

重点項目スコア= 重みの総和

④地域材の活用

重点項目スコア=評価ポイントの合計+1

■ 環境設計の配慮事項

■ 建物名称 (仮称)オークワ ミラまち店

計画上の配慮事項	
総合	注) 設計における総合的なコンセプトを簡潔に記載してください。 物販店舗として空間・売場環境・省エネルギーに配慮した。
Q1 室内環境	注) 「Q1 室内環境」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 施設内の快適性を確保するため、空気室環境(F☆☆☆☆建材使用)の向上に努めている。
Q2 サービス性能	注) 「Q2 サービス性能」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 施設のサービス性向上のため、機能性(天井高、レストスペース、バリアフリー適合)、信頼性(節水衛生器具、複数情報設備)、将来の更新性(仕上材・設備配管などの建材資材の耐久性、設備や空間プランニングの自由度)に配慮している。
Q3 室外環境(敷地内)	注) 「Q3 室外環境(敷地内)」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 アプローチに大き目の庇を設けて日影空間を形成している。建物に死角空間を作らない様にし、防犯灯の設置等により防犯性に配慮している。
LR1 エネルギー	注) 「LR1 エネルギー」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 建物の断熱を適切に配し、外壁や窓を通しての負荷に配慮した計画としている。空調機、照明器具に関して高効率の設備を採用している。
LR2 資源・マテリアル	注) 「LR2 資源・マテリアル」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 省資源への貢献として、建材再利用性(乾式工法による解体時の資源分別容易性)、汚染物質回避(発砲断熱材不採用)に配慮している。
LR3 敷地外環境	注) 「LR3 敷地外環境」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 敷地外環境への負荷軽減のため、断熱性能や高効率機器の積極的な採用による運用LCCO2排出量削減、オール電化による大気汚染物質の削減、地域インフラへの負担抑制(駐車場の確保)に配慮している。
その他	注) 上記の6つのカテゴリー以外に、建設工事における廃棄物削減・リサイクル、歴史的建造物の保存など、建物自体の環境性能としてCASBEEで評価し難い環境配慮の取組みがあれば、ここに記載してください。